事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	ひとり親世帯臨時特別給付金				②事業番号	4706	
③事業類型	1. 法上(必須)事業			④開始年度	令和 2 年度	⑤終了予定年度	令和 2 年度 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	☐ 要綱	計画等	その他 法令等の名称: 泉南市ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業実施要綱	
⑦実施手法	直営	全部委託	☐ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	3	項	2	目	1	細目 7
⑨担当部名	健康子ども部			⑩担当課名	家庭支援課		
				会計	一般会計		

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯	① 給付件数(3月31日現在)	件
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
・受給対象者 ①令和2年6月分の児童扶養手当を受けている者。②令和2年6月分の児童扶養手当の支給要件に該当する者のうち、公的年金等を受給しており児童扶養手当の全部を支給しないこととされている者、又は児童扶養手当の認定を受けた場合には児童扶養手当の全部又は一部を支給しないこととなることが想定される者(所得制限あり)。③令和2年6月分の児童扶養手当の認定を受けていない受給資格者又は認定を受けているが児童扶養手当の全部を支給しないこととされている受給資格者であって、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、家計が急変した者(所得制限あり)。 ・給付金額 対象児童1人につき50,000円、子ども2人目1人増えるごとに30,000円 ・申請要否 ①申請不要 ②③申請要	① 受給者数	人
②	②	
③	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
泉南市ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業実施要綱に基づき、決められた額を令和3年3月31日までに給付を行う。	① 計算式	千円
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
経済的、精神的負担が軽減され、生活の安定を図ることができる。	政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	1 子どもと大人が夢や希望を持ち、ともに成長できるまちをめざします
	施策中	2 子育てしやすい環境の整備
	施策小	7 ひとり親家庭への支援

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	給付件数(3月31日現在)	件				574			指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①	受給者数	人				574			
活動指標②									—
活動指標③									
成果指標①		千円				89,150			
成果指標②									事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人			0.17			
		任期付職員	人			0.08			
		臨時職員	人			0.00			
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円			1,531			
	直接事業費	千円			91,178			—	
	総事業費	千円			92,709				
財源内訳	国庫支出金	千円			91,769				
	府支出金	千円			0				
	受益者負担金	千円			0				
	その他特定財源	千円			0				
	一般財源	千円			940				

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	泉南市ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業実施要綱に基づき開始。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	この事業については令和2年度の単年度事業であるも、令和3年度以降も新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、類似の給付金事業にて対応している。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	要綱で定められている。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	母子家庭等の生活の安定や自立の促進につながっている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	アイ. ある イ. ない	要綱に基づき実施している事業であり、支給対象者は限定されるため、成果向上の余地は見い出せない。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	アイ. ある イ. ない	新型コロナウイルス感染症の影響により、生じた負担増や収入減に対する支援の為に臨時特別給付金事務であり、削減することができない。事務は現状の職員で行っているが、最小限度の経費によるため削減の余地はない。
--	-----------------	--

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	—

A:現状のまま事業を進めることが適当
B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要)
C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要)
D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (R2 年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
----------	----------------------------	------------------------	----------------------	----------------------

<今後の展開方針>

a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる)	b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する)	e. 統合する(他の事務事業と統合する)
--	--	----------------------

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—